

図工室だより

令和3年 6月 1日
千代田区立九段小学校
校長 清水 明
図画工作科 大高 美和

「白い画用紙を前に…」

1学期の2つ目の題材は、どの学年も平面です。平面は「表したいものを見付けること」が第1関門、「表そうとすること」が第2関門です。

3年生の「にじんで広がる色の世界」は自由なテーマの表現です。中には「表したものが見つからない」という児童もいます。今回は5分ほど班の中で「好きなものは何か」というテーマで、自分が好きなテレビやゲーム、好きな食べ物の話をしました。そんなことをしているうちに、ある班では「虫」「スポーツカー」「ハンバーガー」などのテーマをそれぞれの児童が思いついていました。

4年生の「季節を感じて」は、スケッチを構成して表します。なかなか下描きが進まない児童の中には「描きたいけれど勇気が出ない」と打ち明けてくれた児童もいました。児童といっしょにスケッチを一緒に眺めて、即興で表した表現からよさを見付けたり、もう一度タブレットの写真を眺めて、その時の気持ちを思い出したりして、下描きに取り組んでいます。いろいろ悩んだ結果、表したいものを明確にするためにさらにたくさんのスケッチを描いた後に、もう一度選んで構成した児童もいます。

何かを表現することは、日頃の自分の気付きを大切に、勇気がなければできないことだと改めて感じます。私もそれを課題としながら指導の改善に取り組んでいきたいと思います。

1【5月の図工の様子】

3年生 「にじんで広がる色の世界」

にじみ絵具を実験し、その表現からイメージした世界を表します。どんな世界にしようか、どんなものが「にじみ色」だとおもしろいか。意見を出し合いながら考えました。



4年生 「不思議な乗り物に乗って」

家庭科室のアイロンやジュースミキサー、図工室の万力やローラーなど、身近な動く機械や道具から、様々な仕事をする乗り物を考えて表しました。その周りの背景にあるものも想像し1枚の絵にします。2学期にはアニメーションの素材として、動かして鑑賞する取り組みをしていきます。



5年生「季節を感じて」

これまで児童は、表したいもの（主役）、表したい感じ（雰囲気・空気／風）、を考えて1枚の絵にしてきました。最後に、「表したい感じになっているか」「どこが強調されたらよいか」考えながら作品を遠くから眺めて仕上げをします。図工室後方が仕上げスペースとなり、友達と見合いながら最後の一笔を入れます。



6年生「でこぼこランド」

紙や麻などの自然の素材、ストローやプラモデルの枠などの人工的な素材を用いて凸凹のある平面を表します。

紙をもみ紙にしたり、のりと練って紙粘土にしたり、素材と触れ合いながら何を表すか考えます。



児童は、凸凹がデザインされた建築や公園、文明や地球環境などの人類と地球の営み、様々な視点で凸凹をイメージして表しています。

2【6月の題材予定】

学年	題材	分野	持ち物
3年	広がれ! すてきなぼうけん!	立体	絵の具セット 手ぬぐい ペットボトル500ml 2本
4年	不思議な乗り物に乗って ギョギョ魚の魚	平面 焼き物	絵具セット 手ぬぐい 手ぬぐいを入れるビニール袋
5年	段ボールから生まれたよ	立体	絵の具セット 汚れてもよい服装で
6年	凸凹ランド 額縁づくり 12歳の力で	平面 立体	絵具セット 汚れてもよい服装で 三角定規